

◆情報の共有と見える化、継続的な見直しの実施

○標準物質の整備計画を策定するに当たっては、標準物質供給者とユーザーが、それぞれ把握するユーザーニーズ等情報を持ち寄り、それらが見える形で、共に整備計画策定作業を行うことが望ましい。

- 次表「標準物質整備計画策定作業(案)」をベースに情報を共有化しつつ、策定作業を進めることとしてはどうか。
- 優先順位付け等の評価のポイントは、「重点7分野、継続的ユーザーニーズ、緊急性、基本的物質、規制対応、準規制対応、需要ロット規模、用途(校正・管理)、整備機関の有無(管理用途の場合)」としてはどうか。
- また、新たなニーズ、規制項目の追加があったものは、順次本リストに加え、毎年評価を行い、整備計画を更新することとしてはどうか。

標準物質整備計画策定作業(案)

標準物の整備要望、規制未対応項目							優先順位付け等のポイント										供給計画		備考	
原票 ブロック内 No	物質・項目等	測定の目的 (法令対応の場合は、法令・基準名称等)	用途	測定濃度 (法令対応の場合は、基準値等)	分野	測定対象	a ユーザー ニーズ	b 用途 (校正・ 管理等)	c 整備機 関の有 無	d 重点 7分野	e 影響 度	f 緊急性	g 基本 的物 質	h 規制 対応	i 準規 制	需要 ロット 規模	j 供給 時期	k 供給 形態		
27	1, 4-ジオキサン	環境基本法/水質汚濁に係る環境基準 (人の健康の保護に関する環境基準)	校正	0.05mg/L以下	環境	水質		校正	-	6	○									
28		環境基本法/地下水の水質汚濁に係る環境基準	校正	0.05mg/L以下	環境	地下水		校正	-	6	○									
71		中央環境審議会大気環境部会管申(有害大気汚染懸念物質)	校正	0.05mg/L	環境	大気	○	校正	-	6	×	○	-	○	○	中	H25	NMIJ CRM		
28		水質汚濁防止法/排水基準/有害物質	校正	0.5mg/L	環境	水質		校正	-	6	○									
14	2-メトキシアニリン	水道法/水質基準に関する省令/ 水道水質基準	校正	0.05mg/L以下	水道	水		校正	-	6	◎									H25供給希望
111		REACH 高懸念物質(SVHC)	校正	0.1%以下	化学	樹脂	○	校正	-	5,6	○,○	○	-	○	-	中	H26			
22		Ti	チタン	校正	0.1mg/kg	工業	金属	○	校正	-	7	△	△	○	-	-	小	H26	JCSS	レアメタル
74		W	タングステン	校正	0.10mg/kg	工業	金属	○	校正	-	5,7	○,△	△	○	-	○	中	H25	JCSS	
57	Ge	工場排水試験方法(JIS K0102)	校正	0.1mg/l	JIS	水		校正	-	6	○	△	○	-	○	中	H25	JCSS		
32		ゲルマニウム	校正	0.01mg/kg	工業	金属	○	校正	-	5	△	△	○	-	-	小	H30以降	JCSS	レアメタル	
61	Pm	プロメチウム	校正	-	工業		×	校正	-	×	×	×	○	-	-	×	なし	-	-	人工元素
7	チオジカルブ	ゴルフ場で使用される農業による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針	校正	0.8mg/l	環境	農業	○	校正	-	6	○									JCSS希望
96		水道法/水質基準に関する省令/水質管理目標設定項目うち農業	校正	0.08mg/l	食品	農業		校正	-	6	◎	○	-	○	-	中	H25	NMIJ 値付け		
26	ポリカーバメート	ゴルフ場で使用される農業による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針	校正	0.3mg/l	環境	農業	○	校正	-	6	○	○	-	○	-	小	H26	NMIJ 値付け	H26,7供給希望	
18	ロニダゾール	食品衛生法/食品、添加物等の規格基準(食品において「不検出」とされる農業等)	校正	不検出	食品	農業	○	校正	-	6	◎	○	-	○	-	小	H26	NMIJ 値付け		
715	ワルファリン	食品等に残留する農業等に関するポジティブ制度	校正	暫定基準レベル	食品	農業	△	校正	-	6	△	△	-	○	-	極小	H30以降	NMIJ 値付け		

要望、規制が加わった物質・項目を随時追加し共有。毎年、優先順位を評価。

※ 優先順位付け等のポイント欄の記載方法

a. ユーザー ニーズ	b. 用途	c. 整備機 関の有 無	d. 重点分 野	(当該分野 での産業 への影響 度・重要 度)	e. 緊急性	f. 基本 物質	g. 規制	h. 準規 制(JIS、 指針等)	i. 需要 ロット 規模	j. 供給 時期	k. 態供 給形	備考
○:継続的 ニーズが複 数者あり △:継続的 ニーズある が限定的 ×:ニーズが 明確でない 又はニーズ は認められ るが継続的 でない	・校正 ・管理 ※「校正 の目的 の用途 欄」を 転記	産総研 以外に、 ○:あり △:ある が活動 弱い ×:なし (用途)が 「管理のも ものにつ いて記載」	1:震災対応 2:グリーンイノベーション・インフラの整備 3:ライフライン・インフラの整備 4:日本が強みを有するものづくり基盤支援 5:産業の国際展開 6:規制への対応 7:SI基本単位に係る整備	◎:極めて大 ○:広くあり △:限定的 ×:期待小	◎:極め て大 ○:あり △:猶予 あり ×:なし	○:該当 △:汎用 性あり -:該当 せず	○:あり -:なし	○:あり -:なし	大 中 小 極小	・5年以内は極力具体的に供給年度を記載 ・5年より先は、○年度以降、○～○年度等と記載	・JCSS ・NMIJ CRM ・NMIJ 値付け	優先順位付けの評価、その他で、補足情報があれば記載

標準物質整備計画策定フロー(案)

